

## 森の台小学校 皆様の声を学校教育へ 結果報告

「皆様の声を学校教育へ」アンケートへのご協力、ありがとうございました。学校での子どもたちの様子を見ていただくことが、これまでのようにできなかった今年度、回答は難しかったかと思えます。自由記述には、本校の取組に対する温かいお言葉や大切なご示唆がたくさんありました。そして、「あまりできていない」、「できていない」とご指摘いただいた点については、しっかりと受けとめ、今後に生かしてまいりたいと思えます。

回答数 341

項目	学校の取組についてお伺いします。各項目について「実現できているか【実現度】」をお答えください。	できている	大体できている	あまりできていない	できていない	わからない
1	学校は、子どもが「わかった」「できた」と実感できる指導・支援を工夫している。「生きてはたらく知」	22%	65%	4%	0%	9%
2	学校は、まち探検、雨水調整池見学、福祉や防災に関わる地域の方による学習など、地域の方々との関わりから学べるように工夫している。「地域連携」	35%	52%	5%	1%	7%
3	学校は、異学年で構成する縦割り活動を行い、子どもたちの自主性と実践力を育てている。「自分づくり教育（キャリア教育）」	37%	50%	4%	1%	8%
4	学校は、様々な人との関わり合いを大切にし、個性の違いを認められる心や思いやりの心を育てている。「豊かな心」	23%	62%	6%	0%	8%
5	学校は、社会的マナーやネット利用に関する出前授業等を実施し、児童の規範意識を育てている。「児童指導」	28%	54%	6%	0%	12%
6	学校は、一人ひとりの児童の実態に応じた指導や支援の仕方を工夫している。「特別支援教育」	23%	53%	4%	1%	19%
7	学校は、給食指導や保健指導を大切に、季節や課題に応じた情報提供を行い、興味・関心を高め、行動化、習慣化を育成している。「健やかな体」	32%	61%	2%	1%	4%
8	学校は、いじめが起きにくい風土づくりに努めるとともに、いじめへの対応を適切に行っている。「いじめへの対応」	18%	54%	4%	1%	24%
9	学校は、学校説明会や学校だより等の配付物、ホームページ等で教育目標や教育方針、教育活動の様子（教育計画）を分かりやすく伝えている。「学校経営方針の発信」	38%	57%	1%	1%	3%

【項目6】特別支援教育の取組については、保護者の皆様に多くの「わからない」というご指摘をいただきました。特別支援教育とは、全校児童一人ひとりの実態に応じた教育活動のことを指します。本校では、児童支援専任教諭、特別支援コーディネーターを中心に、日々の児童の実態を把握して、全教職員で指導・支援にあたっています。また、一例としてユニバーサルデザインを意識した、誰もが分かりやすい授業展開の工夫に取り組んでいます。今後も、個人の実態に応じた特別支援教育の充実に努めていきます。

【項目8】いじめへの対応や取組については、保護者の皆様に多くの「わからない」というご指摘をいただきました。本校では、いじめをしない・させない・ゆるさない風土を心の中に育てるべく、朝会・集会・授業の中で、折にふれて指導に取り組んでいます。今後は、それらの取組を保護者の皆様にもお伝えし、家庭との連携を図りながら、いじめが起きにくい風土づくりに努めます。全児童を全教職員と全家庭で見守る意識を高め、いじめの早期発見に努め、迅速な対応に努めます。相手の良さを見つけるような見方を子どもの心の中に育てるため、ともに手を取り合っていきましょう。

【自由記述】学校経営・学校教育についてのご要望・ご意見を多数いただきました。集約してお伝えいたします。

＜学校と地域のつながり＞ ・地域の方々との関わりから学ぶ機会の拡大に期待しています。

→子どもたちの安全を第一に考えながら、地域の方々との関わりから学ぶ機会を工夫していきます。これからも地域の方々と手を携えて、子どもたちの成長のために協働して取り組みたいと考えています。

＜いじめへの対応＞ ・いじめとはいかなくても、嫌がらせに悩んでいる…と聞きました。子どもたちと面談する時間をもつなど、子どもたちが先生に話せる時間があればいいと思います。

→「森の台小いじめ防止基本方針」に則り、全職員が毎月研修を重ねながら対応しています。子ども同士のかかわりの中で見られるいじめや嫌がらせの芽となる言動には、今後も教師が敏感に対応できるようにし、また、子どもや保護者から伝えられた事柄にも、複数で真摯に対応していきます。各学級では5月と11月に担任と子ども一人ひとりが話し合いをする「子ども面談」の時間を設けています。それ以外にも、困ったときに「助けてください。相談に乗ってください。」と子どもが担任や学年の教師または、保健室や児童支援専任など、そばにいる教師にSOSを出せるような、温かい教師集団でいられるよう連携しています。どんな小さな悩みにも我々教師はしっかりと耳を傾け、寄り添っていきたくと思っています。

＜ネット依存への対応＞ ・ゲームとスマホ依存について学校からももっとご指導して頂けるとありがたいです。

→ゲームやスマホ依存については、ご家庭と学校が手を取り合いながら、繰り返し子ども達に指導したり話したりしていく必要があると思います。本年度も6年生には計4回、5年生には計3回、4年生以下には計2回、指導の機会を設けてきました。来年度も引き続き粘り強く指導していきたいと思っています。ご家庭でもお子さんと常に話し合いの場を設け、約束やルールを徹底していただけるようお願いいたします。ご家庭と学校、中山中学校ブロック4校、そして地域の皆さままでお子さんを見守っていきましょう。

＜ICTを活用した教育活動＞ ・ロイロノートを使っただけの授業は良いのですが、画面で遊んでいる子が多数いました。また、思考をまとめるという面や字を書く訓練という面においても、黒板を書き写すことはある程度必要なのではないかと思っています。

→タブレットの使い方については、日々正しい使い方ができるように子どもたちに指導しています。また、子どもたちの学習の成果を上げるために、どの学習場面でロイロノートを使うのがよいかを考え使用しています。ロイロノートを活用した学習や、通常のノートを用いた授業を柔軟に組み合わせています。

＜コロナ禍における教育活動＞ ・コロナ禍でも、行事や修学旅行などを中止にすることなく、形を変えての開催、延期して開催など、中止以外の方法を取ってくださりありがたかったです。

→子どもたちの安全・安心を最優先し、形を変えながらも、できる限りの教育活動に取り組んでまいりました。今後も、市や近隣校と情報共有しながら、教育活動の推進に取り組んでまいります。

＜登校＞ ・個別登校を希望します。

→新年度からは、通学の安全性や感染拡大防止を踏まえ、前期開始より1か月間、それ以降は毎週月曜日を集団登校とし、それ以外は個別登校とします。

＜学校からの連絡＞ ・ホームページにて子どもたちの様子を伺うことができ、大変ありがたく嬉しく思っております。

・諸連絡、先の予定の連絡等、近隣の他校より早く、ホームページの更新もスピード感があり、大変満足しています。

・手紙とメール、どちらか一つで構わない。メールでの連絡も全文は必要なく要件だけで十分です

→引き続き学校ホームページを活用して、子どもたちの活動の様子をお伝えできるように努めてまいります。

また、ペーパーレスを意識し、印刷による配付物を減らし、メール配信による情報発信を心掛けていきます。今後も、メールの内容をご確認いただきますようお願いいたします。

終わりに・・・

保護者の皆様からご示唆いただいた点については、次なる指針として検討し、新たな方策として生かしてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解と温かなお力添えのほど、よろしく願いいたします。